



平成31年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年12月13日

上場会社名 株式会社SKIYAKI 上場取引所 東
 コード番号 3995 URL <https://skiyaki.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮瀬 卓也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 酒井 真也 TEL 03 (5428) 8378
 四半期報告書提出予定日 平成30年12月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年1月期第3四半期の連結業績（平成30年2月1日～平成30年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年1月期第3四半期	2,820	59.4	109	△34.4	96	△37.3	35	△71.6
30年1月期第3四半期	1,768	—	167	—	154	—	126	—

(注) 包括利益 31年1月期第3四半期 33百万円 (△72.7%) 30年1月期第3四半期 124百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年1月期第3四半期	3.45	3.37
30年1月期第3四半期	13.63	13.47

(注) 当社は、平成30年8月1日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年1月期第3四半期	2,881	1,181	39.9
30年1月期	2,911	1,160	39.6

(参考) 自己資本 31年1月期第3四半期 1,148百万円 30年1月期 1,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年1月期	—	—	—	15.00	15.00
31年1月期	—	—	—	—	—
31年1月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年1月期の連結業績予想（平成30年2月1日～平成31年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,756	51.0	111	△54.0	117	△45.6	41	△77.2	3.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社SKIYAKI APPS、除外 1社 （社名）－
（注）詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 （3）四半期連結財務諸表に関する注記事項 （当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動）」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年1月期3Q	10,402,000株	30年1月期	10,392,000株
② 期末自己株式数	31年1月期3Q	260株	30年1月期	1株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年1月期3Q	10,398,464株	30年1月期3Q	9,263,889株

（注）当社は、平成30年8月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、緩やかな回復基調が続いております。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続く中で各種政策の効果もあり、緩やかに回復していくことが期待されておりますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念されるなど、今後の動向は依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、アーティストに係るファンクラブ（以下「FC」という。）サービス、アーティストグッズ等のECサービス及び電子チケットサービス「SKIYAKI TICKET」の取扱いアーティスト数及び提供サービス数を増やし、取引規模を拡大させて参りました。また、FC、EC、TICKET、旅行及びイベント等の既存サービスに加え、スマートフォン向けキャッシュレス決済サービス「SKIYAKI PAY」のリリースや、事業譲受によるライブ・イベントの同行者を探せるSNSサービス「AMIPLE」及び国内最大級の音楽ライブ情報サービス「LiveFans」の取得、ファンの熱量を見える化する「bitfan」の機能を備えたファンクラブを誰でもすぐに開設できるオープン型ファンクラブサービスをローンチするなど、新たなサービスチャネルの展開を積極的に進めるとともに、株式会社SKIYAKI LIVE PRODUCTION及び株式会社SKIYAKI APPSを連結子会社とし、株式会社ピーリンクを持分法適用関連会社とするなど、シナジー効果が見込まれる企業への積極的なM&Aを実施して参りました。これらの事業展開により、平成30年10月31日現在における当社が提供するプラットフォームの総登録会員数は、229万人（前年同四半期比74.2%増）を突破しました。

FCサービスについては、サービス数及び有料会員数ともに前連結会計年度末比で増加し、売上高の増加に貢献しました。当該売上高の増加に伴い、プロダクション向けロイヤリティ及び決済代行業者向け回収手数料等の変動費が増加しました。

ECサービスについては、アーティストによるツアー実施等の活動の有無により商品の出荷時期及び出荷金額が変動する特性があり、ストック型ビジネスであるFCサービスと比較して、四半期ごとの売上高の変動性が大きくなる傾向にあります。当第3四半期連結累計期間においては、サービス数は増加したものの、商品の出荷金額が伸びず、売上高が前年同期比で減少した一方で、商品の配送費用等の急激な値上がりを受けて、倉庫物流費用が増加しました。

ライブ制作事業については、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めている株式会社SKIYAKI LIVE PRODUCTIONのライブ制作収入により、売上高が前年同期比で増加するとともに、ライブ制作原価の発生により売上原価が増加しました。

その他、人員数の増加及び昇給に伴う人件費の増加、本社移転によるオフィス賃借料の増加、積極的なM&Aの実施に伴う財務デュー・デリジェンス費用、仲介手数料及びのれん償却額の増加等により、販売費及び一般管理費が増加しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,820,093千円（前年同四半期比59.4%増）、営業利益109,904千円（前年同四半期比34.4%減）、経常利益96,673千円（前年同四半期比37.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益35,856千円（前年同四半期比71.6%減）となりました。

セグメント及び事業のサービス別の売上高については、以下のとおりであります。

①プラットフォーム事業

a. FCサービス

FCサービスは、有料会員より毎月又は毎年受領するファンクラブ会費を売上高に計上するストック型ビジネスであることから、安定的かつ継続的な収入が見込まれるという特性を有しております。

当第3四半期連結累計期間においては、サービス数及び有料会員数の増加により、FCサービスの売上高は1,722,822千円（前年同四半期比34.3%増）となりました。なお、FCサービスは、売上高を総額計上しております。

b. ECサービス

ECサービスは、有料会員又は無料会員からインターネットを通じて注文を受けた商品を出荷した時点で売上高を計上するフロー型ビジネスであることから、ストック型ビジネスであるFCサービスと比較して、四半期ごとの売上高の変動性が大きくなる傾向にあります。

当第3四半期連結累計期間においては、サービス数は増加したものの、出荷金額が前年同期比で減少したことにより、ECサービスの売上高は383,008千円（前年同四半期比11.2%減）となりました。なお、ECサービスは、当社が受領する販売手数料収入を売上高として純額計上しております。

c. その他

その他の売上高は、SKIYAKI TICKET、SKIYAKI GOODS及びSKIYAKI PAYのサービス提供、クラウドファンディング・プラットフォームサービスの提供、その他上記に含まれないサービスに係るシステム提供及びサイト構築及び運営業務の受託等により、58,290千円（前年同四半期比19.9%増）となりました。

②ライブ制作事業

第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めている株式会社SKIYAKI LIVE PRODUCTION（旧商号：株式会社MSエンタテインメント・プランニング）において、アーティストのライブ・コンサート等の制作を行っております。ライブ制作事業の売上高は、アーティストのライブ制作収入により、601,685千円となりました。

③その他事業

その他事業の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社である株式会社ロックガレージにおける旅行・ツアー事業、株式会社リアニメーションにおけるイベント制作事業及び株式会社SKIYAKI APPSにおける020ファンプラットフォームの開発・運営事業等であります。その他事業の売上高は、ファンクラブ旅行パッケージ販売収入、アニメソングDJイベント「Re:animation」のクラウドファンディング収入、AMIPLE及びLiveFansに係る広告収入等により、54,285千円（前年同四半期比889.4%増）となりました。

なお、第2四半期連結会計期間における株式会社SKIYAKI LIVE PRODUCTIONの連結子会社化に伴い、報告セグメントを従来の「プラットフォーム事業」の1区分から、「プラットフォーム事業」及び「ライブ制作事業」の2区分に変更しております。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は2,881,161千円となり、前連結会計年度末に比べ30,801千円減少しました。

流動資産については、主に預り金の支払や子会社株式の取得等による現金及び預金の減少524,764千円、売上増加に伴う売掛金の増加160,060千円、主に年会費FCに係るロイヤリティの前払いによる前払費用の増加109,560千円等により、前連結会計年度末に比べ235,374千円減少し、2,502,005千円となりました。

固定資産については、有形固定資産が17,877千円、無形固定資産が235,502千円、投資その他の資産が125,775千円となり、前連結会計年度末に比べ204,572千円増加し、379,156千円となりました。これは主に、子会社及び事業の取得に伴うのれんの増加200,212千円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1,699,866千円と前連結会計年度末に比べ51,627千円減少しました。

流動負債については、FCサービスに係る買掛金の増加357,548千円、年会費FCに係る前受収益の増加72,496千円、主にECサービスに係る預り金の支払による減少490,042千円等により、前連結会計年度末に比べ54,968千円減少し、1,695,324千円となりました。

固定負債については、連結子会社である株式会社リアニメーションにおける長期借入金の追加借入れの実施により、前連結会計年度末に比べ3,341千円増加し、4,541千円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ20,825千円増加し、1,181,295千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益35,856千円の計上、非支配株主持分の増加24,547千円、剰余金の配当31,176千円、子会社株式の追加取得に伴うその他資本剰余金の減少8,305千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、当第3四半期連結累計期間における連結業績が概ね計画どおりに進捗していることから、平成30年9月12日の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,948,642	1,423,878
売掛金	456,956	617,017
商品	—	341
前払費用	293,526	403,086
その他	44,371	58,107
貸倒引当金	△6,116	△423
流動資産合計	2,737,379	2,502,005
固定資産		
有形固定資産	15,257	17,877
無形固定資産	40,885	235,502
投資その他の資産	118,440	125,775
固定資産合計	174,583	379,156
資産合計	2,911,963	2,881,161
負債の部		
流動負債		
買掛金	344,009	701,557
1年内返済予定の長期借入金	600	1,200
未払法人税等	32,827	27,049
預り金	890,365	400,323
前受収益	350,681	423,177
その他	131,810	142,016
流動負債合計	1,750,293	1,695,324
固定負債		
長期借入金	1,200	4,541
固定負債合計	1,200	4,541
負債合計	1,751,493	1,699,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,267	553,392
資本剰余金	527,267	519,086
利益剰余金	72,184	76,864
自己株式	—	△346
株主資本合計	1,152,718	1,148,996
非支配株主持分	7,751	32,298
純資産合計	1,160,470	1,181,295
負債純資産合計	2,911,963	2,881,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年10月31日)
売上高	1,768,661	2,820,093
売上原価	1,118,003	2,010,553
売上総利益	650,657	809,539
販売費及び一般管理費	483,198	699,635
営業利益	167,459	109,904
営業外収益		
受取利息及び配当金	370	378
業務受託料	1,620	720
助成金収入	600	570
その他	180	678
営業外収益合計	2,771	2,346
営業外費用		
株式公開費用	13,899	—
持分法による投資損失	1,806	14,405
その他	402	1,171
営業外費用合計	16,108	15,577
経常利益	154,122	96,673
特別利益		
段階取得に係る差益	—	3,260
持分変動利益	—	8,361
特別利益合計	—	11,621
特別損失		
本社移転費用	8,354	—
減損損失	—	18,589
投資有価証券評価損	—	17,114
特別損失合計	8,354	35,704
税金等調整前四半期純利益	145,767	72,591
法人税、住民税及び事業税	21,761	39,576
法人税等調整額	—	△880
法人税等合計	21,761	38,695
四半期純利益	124,006	33,895
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,288	△1,960
親会社株主に帰属する四半期純利益	126,294	35,856

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年2月1日 至平成30年10月31日)
四半期純利益	124,006	33,895
四半期包括利益	124,006	33,895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	126,294	35,856
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,288	△1,960

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第2四半期連結会計期間において、株式会社SKIYAKI APPSの議決権の過半数を取得したため、連結の範囲に含めております。なお、株式会社SKIYAKI APPSは、当社の特定子会社に該当しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年2月1日至平成29年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他事業 (注)	合計
	プラットフォーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	1,763,174	5,486	1,768,661
セグメント間の内部売上高 又は振替高	390	—	390
計	1,763,564	5,486	1,769,051
セグメント利益又は損失(△)	170,960	△5,151	165,808

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社における旅行・ツアー事業及びイベント制作事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	170,960
その他事業の利益又は損失(△)	△5,151
セグメント間取引消去	1,800
のれんの償却額	△149
四半期連結損益計算書の営業利益	167,459

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成30年2月1日 至 平成30年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他事業 (注)	合計
	プラットフォーム事業	ライブ制作事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,164,121	601,685	2,765,807	54,285	2,820,093
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,602	412	2,015	—	2,015
計	2,165,724	602,098	2,767,822	54,285	2,822,108
セグメント利益又は損失(△)	101,661	42,519	144,181	△26,265	117,915

(注) 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社における旅行・ツアー事業、イベント制作事業及び020ファンプラットフォーム事業等であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	144,181
その他事業の利益又は損失(△)	△26,265
セグメント間取引消去	3,235
のれんの償却額	△11,245
四半期連結損益計算書の営業利益	109,904

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「プラットフォーム事業」セグメントにおいて、連結子会社である株式会社リアニメーション及び株式会社SKIYAKI APPSの株式取得時に計上したのれんについて、想定した収益が見込めなくなった等の理由により帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当額減少額を減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において18,589千円であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間において、株式会社SKIYAKI LIVE PRODUCTIONを連結の範囲に含めたことに伴い、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「プラットフォーム事業」の1区分から、「プラットフォーム事業」及び「ライブ制作事業」の2区分に変更しております。

なお、当該報告セグメントの変更に伴う前第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額への影響はありません。